

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年6月23日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873100937		
法人名	有限会社 美野里メデカルサービス		
事業所名	グループホーム つつじ	ユニット名	西館
所在地	〒311-3153 茨城県東茨城郡茨城町上飯沼2-278		
自己評価作成日	平成21年11月20日	評価結果 市町村受理日	平成22年6月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年1月29日	調査確定日	平成22年6月1日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

入居者様が快適に暮らせるように職員 家族が協力し合っている 家庭菜園や草花を育てている
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は男性の利用者が多く、「やさしく しんせつ ていねいに」を理念として、日々利用者の立場に立って手厚いケアを実施するとともに、利用者の健康面に熱心に取り組んでいるため利用者や家族等の安心につながっている。</p> <p>職員は勤続年数が長く、ケア上の相談をし合うなど協力関係を構築しており、利用開始直後は不穏だった利用者が穏やかになったり、布おむつから布パンツになるなど改善し、職員は家族等から厚い信頼を得ている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	つつじの理念を理解し又何かあるたびに話し合いも 行っている	「やさしく しんせつ ていねいに」との理念を掲げているが、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成するまでには至っていない。	地域に根ざすグループホームとして、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を全職員で作成し共有するとともに、実践につなげることを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設の行事等への参加を ポスターを貼り呼びかけている 地域の清掃や空き缶拾い当に参加 保育園の夏祭り等の行事に招待していただくなどの交流も図るようになって来ています	近隣の保育園の夏祭りに利用者と職員が参加したり、中学生が体験学習で来訪しているほか、大正琴や日本舞踊のボランティアを受け入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を開いて話あっています	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に開かれる会議においてホームの現状報告をし 皆さんからの意見をお聞きしている	運営推進会議は家族等の代表や町職員、地域包括支援センター職員、民生委員、近隣住民の代表、事業所職員で2ヶ月に1回開催し利用者の状況や空室情報を報告しているほか感染症などについて話し合っているが、出席の委員が限られており活発な意見交換をするまでには至っていない。	事業所の運営状況を多くの地域の人々に知ってもらうため、運営推進会議の委員を地域から幅広く募るとともに、会議で出た意見等をサービスの質の向上に活かすことを期待する。 事業所便りを活用し家族等に会議の開催日を知らせるとともに、参加を得られるよう働きかけることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を開くことで 以前より協力関係は持てるようになってきたと思います	管理者は町担当者や地域包括支援センター職員と連絡を取ったり、生活保護の利用者に関しては茨城県福祉相談センターと連絡を取り合い協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内に 身体拘束に関するポスターを掲示することで 職員が十分理解している	事業所に身体拘束排除の取り組みのポスターを掲示するとともに、全職員で研修を実施し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 事業所の前が幹線道路であり危険防止のため施錠しているが、中庭への出入りは自由である。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会に参加している 日常コミュニケーションを図るように努めている ストレスを抱えないように一人ひとりに合わせた声掛けを心がけています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	契約書に書いており 成年後見人制度についても掲示しています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明をし 納得を頂いた上で署名 捺印をしていただいている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	投書箱の設置 苦情窓口の提示をし 重要事項説明書に連絡先を明記しています	重要事項説明書に事業所や第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに、意見箱を設置しているが投函の実績はない。	利用者や家族等からの率直な意見や要望を汲みあげるため、年に1回程度無記名のアンケートを実施するとともに、改善点を全職員で話し合い運営に反映させるほか、結果を家族等に報告することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎週定期的に 会議を行っている	管理者は毎月全職員で定例会議を開催し職員の意見等を聞く機会を設けたり、日頃から職員の困りごとや悩みなどを聞くよう努めているが、運営に十分反映させるまでには至っていない。	意見等を言い出しにくい職員に配慮して年1回程度、職員アンケートを実施することを期待する。
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修等の案内を公開している シフト調整により積極的に研修等に参加できるようにしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他のグループホームに研修に出ている 又行事等の際 社会福祉協議会などに協力や助言をお願いしている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族の方からも情報を得て より多くのコミュニケーションを取るようになっている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	日頃からお便りや お知らせなどを送り蜜に連絡を取り合っている 今までの生活を細かく聞くことで家族の思いを聞くようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前に事前訪問等をしていただき 雰囲気馴染めるようにしていただく 十分話を聞いて話し合っ決めて		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	散歩 レクリエーション 掃除や草引き 野菜作り等 ご本人の出来る事を一緒に行っている 食事 おやつなどを共にすることで 色々な話を聞かせていただいている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と相談をしながら行っている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまでの関係が途切れることが無い様に援助している 電話を掛ける 手紙を書くなど	2ヶ月に1回馴染みの理美容院の従業員が訪問して利用者の散髪をしてくれている。 利用者の知人が来訪し、馴染みの理美容院へ散髪に利用者を送迎してくれる。 利用者の知人、家族等が来訪した時は、お茶を出してゆっくりして頂いている。 利用者の知人が来訪したり、手紙や電話をかけてくれている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	各ユニットに限らず 自由に遊びに行ったり来たり出来る様な環境作りをしている 出来る人が出来ない人のお手伝いをしたり声かけしたりが自然に 出来ている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院の入院後 死亡されての退去がほとんどの為 余りありません 入院中はお見舞いに行ったりしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者と話し合い 検討している	職員は利用者と話をしたりコミュニケーションを図りながら、暮らしへの要望や意向の把握に努めている。 言葉で思いを表現することが難しい利用者は、利用者毎の日々の記録やフェイスシート等を活用し、職員間で話し合い把握するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に情報を家族や利用者本人に聞いている 施設からサマリーを頂くこともある		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りを蜜にすることで生活全般 心身状態を把握するように努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的に会議を設けている 担当者会議において意見交換する	要介護認定更新時や変化があった時など、必要な時期に家族等と面会し利用者の状況を知らせるとともに、サービス担当者会議を開催し関係者で話し合い、現状に即した介護計画を作成している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日 ケース記録に記録している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じて支援している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアを御願いしたり 小学生との交流会を設けたり 近隣の保育園の夏祭りなどにも招待していただいている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院が近くにあるが 家族と相談しながら受診は決めている	利用者や家族等の希望にそったかかりつけ医への受診は家族等が付き添っているが、協力病院への受診は職員が付き添い支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	気軽に相談できている 受診時 何かあったときには TEL等で相談できている		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	本人 家族の希望を聞きながら 医師 看護師と相談し 早期退院に向けて話し合っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階で家族や本人の意向を確認し 其の都度 対応 方針の共有を図っている	重度化や看取りに関する事業所の指針を全職員で共有するとともに、利用契約時に利用者や家族等に説明し同意を得ている。 昨年末に看取りの経験があり職員間で協力し支援に取り組んだ実績がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルは作成 掲示している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時に利用者が安全に避難できるように消防署の協力を得て 定期的に避難訓練を行っている	避難訓練は消防署協力のもと年2回実施するとともに、内1回は夜間を想定した避難訓練を実施しているが、地域住民の参加を得るまでには至っていない。	災害時に協力が得られるよう、運営推進会議を活用し消防団や地域住民に避難訓練への参加を呼びかけることを期待する。 災害対策に対しての職員の意識を高めるため、避難訓練終了後に反省文を書くなどの取り組みを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合わせた対応をしている	職員は利用者呼びなれた名前です 呼んでいる。 失禁してしまった場合は利用者の居室にさりげなく誘導するなど、プライバシーを損ねないように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃から言葉づけを多くして 信頼関係を築き 自分の気持ちが少しでも多く話してもらえるように心がけている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが 自分のリズムで過ごせるように配慮している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	御家族が本人の行きつけの理髪店にお連れしているか 訪問で散髪を受けています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る範囲の中で職員と一緒に準備片付けを行っている	テーブル拭きや下膳など、利用者が出来る範囲で手伝ってもらっている。 家庭生活の継続という観点から利用者はエプロンをかけて後片付けを手伝ったり、利用者自身が使用する茶碗などを自宅から持参している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の作成した献立により 栄養バランスを保っている 食べ残しの無い様に配慮している (刻み食粥食など) 10時15時以外にも 必要に応じて水分を取っていただいている		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の 口腔ケアを声掛け 実地している 歯磨き 嗽など		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	可能な限りトイレでの排泄が出来るように支援している 各個人に合わせて不快な気持ちにならないように声掛け トイレ誘導をおこなっている	職員は排泄チェック表を活用し時間を見計らって声をかけたり誘導し、利用者がトイレで排泄ができるよう支援している。 利用開始時は布おむつ使用だった利用者が布パンツ使用になるなど、排泄の自立に向けた支援の効果が表れている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘原因を考え 自然排泄を促すように 運動 水分 食事などを工夫するように務めている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日 時間の決まりはあるが 一人ひとりに合わせて ユックリ入浴できるように支援している	入浴は週2回午前中と決まっているが他のユニットでの入浴が可能であり、利用者の希望に合わせて入浴できるよう支援をしている。 体調不良などにより入浴ができない利用者には清拭を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の体調に合わせた支援をしている 夜良く眠れるように 日中の過ごし方を配慮している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師指示どおりに服用できるように支援している 副作用についての理解をし 本人確認をし誤薬に注意している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る範囲の中で 役割を持っていただいている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	交通手段が無い為 散歩のみとなっている 外来受診時などに 少し遠回りするなど ドライブは楽しめるように配慮しています	事業所は郊外にあるが公用車が無いため外出は散歩のみで、家族等からは車で外出の希望が多い。事業所前の幹線道路は車の往來があり、職員が付き添っての散歩では危険が伴う。	季節に合わせた花見や紅葉狩りなど利用者が外出を楽しんだり気分転換を図れるよう、車を利用した外出支援に取り組むことを期待する。
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる方は所持している 自己管理困難の方は 事務所において預かっている		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話を設置し 自由に掛けることができる 技量に応じて代行することや 希望により手紙の代筆をする事もあります		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フローアや廊下に利用者の作品を飾り季節の花を飾っている テレビの声の大きさ 陽射しの強さを配慮している トイレなどカーテンで仕切り プライバシーにも配慮しています	居間の一面に畳の部屋があり、利用者が寛いだり洗濯物をたたむ時などに使用している。 車椅子対応のトイレを設置するとともに、脱衣所にトイレを設けて高齢者の排泄に配慮している。 所々に置かれた観葉植物が季節を感じさせるとともに利用者の目を楽しませている。 利用者の作品がさりげなく壁に飾られている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関前や廊下にベンチを設け 自由にくつろげるようにしている 誰とでもコミュニケーションをはかれるように館内は自由に行き来出来るようにしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や本など家族と相談し 本人愛用の品を飾ったり 持込めるように支援している	居室はベッドや箆笥、洗面台を備え付けている。 目が不自由な利用者に配慮して危険な物品を置かない工夫をしたり、利用者や家族等と相談しながら好みの物品や使い慣れた物品を持ち込んでもらい、居心地良く暮らせるよう工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりに合わせて自立支援を行っているトイレは電気を消さない場所の間違いが無い様に目じるしを付ける 段差が無い 手すりがついているなど		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが ○ 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームつつじ

作成日 平成22年6月12日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念の作成するまでにはいたっていない	つつじ独自の理念の作成	全職員で作成、今後の実践につながるよう取り組んでゆきたい	3ヶ月
2	4	運営推進会議は出席の委員が限られており活発な意見交換をするまでにはいたっていない	地域家族の参加を得る	つつじ便りを活用して活動内容や意義を伝え、参加を得られる様働きかけてゆきます	6ヶ月
3	10	避難訓練を行ってはいるが地域住民の参加を得るまでには至っていない	地域との協力体制を築いてゆく	地域消防団の方にも推進会議・非難訓練への参加を働きかけてゆきます	1年
4	49	外出は散歩のみで、家族等からは車での外出の希望が多い	車で外出できる	車を利用した外出が出来る様に引き続き働きかけてゆきます	1年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。